

2015年9月17日 第107号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

国民の声が国会動かす！ 列島騒然の行動で絶対止めよう！



国会は17日13時に特別委員会が再開しました。15時現在は、鴻池委員長の不信任動議についての賛成答弁で、戦争法案の審議には入っていません。16日18時からしめくり質疑を行うという暴挙を20時間以上も遅らせているのは、まさに全国各地で、国会周辺でわき起こる「戦争法案NO」「9条壊すな」の声であり、国会内外の奮闘です。また、自民党、公明党事務所に次々抗議FAXが寄せられており、大きな力となっています。

今日は冷たい雨のなか、朝9時から正門前で声をあげています。その後、11時、13時、17時集会を開き、国会議員からの報告、「戦争法案絶対廃案」のコールをあげています。平日昼間に関わらず、国会正門前の歩道は南庭側も北庭側も人がびっしりで、駅から正門前に向かう人足は途絶えることがありません。

引き続き、国会正門前での抗議と、全国各地での集会、宣伝、デモのアピール行動で、安倍政権に圧力をかけましょう！！

9月17日(木)

◆座り込み行動と国会正門前大集会 主催:総がかり行動実行委員会

9時～17時 国会正門前集会、終日座り込み *21時まで憲法共同センターは正門前北庭側から桜田門に集中

9時、11時、13時、15時、17時に、国会議員も参加する集会開催(30分～1時間程度)

18時30分～ 国会前集会(正門前)集会後21時まで SEALDs など他団体と調整しながら国会正門前で行動

21時～ 国会議員会館側に移動し集会

9月18日(金)

◆座り込み行動と国会正門前大集会 主催:総がかり行動実行委員会

9時～17時 国会正門前集会、終日座り込み

9時、11時、13時、15時、17時に、国会議員も参加する集会開催(30分～1時間程度)

18時30分～ 国会前集会(正門前)集会後21時まで SEALDs など他団体と調整しながら国会正門前で行動

21時～ 国会議員会館側に移動し集会

全労連が談話「野党の徹底抗戦を断固支持する」

9月17日、全労連は井上久事務局長名で談話を発表しました。以下全文です。

「野党の徹底抗戦を断固支持する」(談話)

安保法案(戦争法案)をめぐる攻防は最大の山場を迎え、安倍政権と与党は昨日16日、締めくくり総括質疑を強行し、特別委員会での採決をねらったが、野党の強い抵抗で17日にずれ込み、予断を許さない状況が続いている。

野党5党などは委員会室前に座り込むなど徹底抗戦をおこなっているが、全労連は野党の徹底抗戦を断固支持し、院内外のたたかいを結んで戦争法案を廃案に追いこむために、いっそうたたかいを強化する決意である。

戦争法案は国会論戦を通じて、憲法を正面から蹂躪し、平和国家からアメリカと一緒に世界中で戦争をする外征国家に、日本という国のあり方を根本から変える違憲立法にほかならないことが明々白々となり、各種世論調査でも法案への反対が賛成の2倍程度となり、今国会での成立に反対が圧倒している。

違憲立法を強行することは断じて許されないのであり、もはや廃案しかあり得ない。野党が徹底抗戦で立ち向かっていることは当然であり、与党の議員も、一人一人が憲法順守義務を負う国会議員として理性ある良識的な判断で、強行採決に反対すべきである。

昨晚も小雨のなかだったが国会周辺には3万5千人超が集まって身動き取れないような状況となり、全国各地で無数の集会やデモ、宣伝行動が展開された。こうした国民世論と行動の高まりと院内でのたたかいがむすんで発展するなかで、与党のなかにも焦りと動揺がひろがっている。世論と運動があと一回り二回りひろがれば、廃案を勝ちとることができる情勢がうまれている。

戦争法案を廃案に追いこむために、今が踏ん張りどきである。今日も朝9時から座り込み行動が展開され、夜も18時半から国会前抗議行動が展開される。明日以降も連日の行動が予定されている。

全労連は、①首都圏をはじめとして、可能なかぎり国会に詰めかけ埋め尽くし、強行採決反対、違憲の戦争法案廃案を強く迫ること、②全国津々浦々で、職場地域から無数の緊急行動を起こし、国会議員への要請に波状的にとりくむこと、の二点を、すべての加盟組合・組合員と友誼組合等に呼びかけるとともに、総がかり行動実行委員会をはじめ国民的な共同のさらなる発展のために奮闘する決意である。

強行採決は断じて許さない! 違憲の戦争法案はきっぱり廃案に!

大阪憲法会議 日刊版下を次々発行

情勢に合わせた日刊版下を
発行中! HPよりダウンロ
ードできます。



兵庫県連・民商 鴻池地元事務所へ要請

兵庫県連・民商16日、特別委員会の全理事にそれぞれ「強行採決するな。廃案に」とファックスを送りました。また地の利を生かし、鴻池特別委員長の事務所を直接訪問。国会の議員控室とは大違いな丁寧な対応で、「東京事務所に伝えます」と民意を非常に気にしている様子うかがえました。

全商連 衆院への要請を呼びかけ

17日朝、衆参国会対策委員長会議を開きましたが、自民党の佐藤国対委員長は「60日ルールも視野に」と法案を引き取る意を示しました。これを受けて、全商連は、衆議院議長、衆議院副議長への要請「戦争法案の衆議院再議決は許されません。民意に従い『廃案』にしてください」と呼びかけています。

(全商連闘争本部ニュースより)